

札幌市立宮の森中学校

令和6年度入学生

保護者説明会



— 次 第 —

1. 学校長挨拶
2. スマホ・SNSの安全な利用
3. 本校の教育活動について
学習、生活、生徒会活動、
部活動、心身の健康
4. 入学準備について
5. 諸費納入方法について
6. 質疑

— 資料目次 —

1. 宮の森中学校の概要
2. 宮の森中学校の教育課程
3. 宮の森中学校の学習
4. 宮の森中学校の生活
5. 生徒会活動・部活動
6. 中学生の健康
7. 宮の森中学校区ランドデザイン
8. 入学準備日程
9. スマホ・SNSの安全な利用

令和6年2月9日(金) 15:30~16:20

札幌市立宮の森中学校 2階 体育館

宮の森中学校の概要

1. 学校教育目標

「自立」 「共生」 「未来志向」
自ら立ち ともに生きることを学び 明日を志す生徒

知 — 創りだす知性をもつ
情 — 思いやりの心をもつ
意 — 学ぶ意欲をもつ
体 — 逞しい体をもつ

2. 令和6年度の在籍生徒と学級数(予定)

学 年	1年生	2年生	3年生	5組
学級数	3学級	3学級	3学級	1学級
在籍生徒数 (内・特別支援生徒数)	約92名 (1名)	103名 (2名)	89名 (3名)	6名

3. 教職員(令和5年度)

- 校長 1名 ●養護教諭 1名 ●校務助手 1名
- 教頭 1名 ●事務職員 1名 ●学校司書 1名
- 教諭 18名 ●用務員 3名 ●スクールカウンセラー 1名
- 相談支援パートナー、学びのサポーター 3名

4. 沿革

- 昭和60年11月1日 向陵中学校を母体に75校目の札幌市立中学校として開校
- 現在、開校38年目を迎えている

5. 校舎・校地・施設設備

- 鉄筋コンクリート3階建(一部4階)
- 施設設備
[校舎外]:グラウンド、テニスコート、温室、教材園
[1階]:普通教室、学習室、木工室、機械室、美術室、多目的室、相談室、用務員室、配膳室
[2階]:普通教室、学習室、理科室、視聴覚室、第2視聴覚室、体育館、格技室
職員室、校長室、保健室、会議室、心の相談室、PTA室
[3階]:普通教室、学習室、音楽室、調理室、被服室、PC室、図書館、生徒会室

6.校章



— 四方の M —

宮の森中学校の生徒であることを四方の M で強調
[Mentality 知性] [Manner 礼儀] [Moral 道徳] [Morale 意欲]
を大切に、個性を育て欲しいという願いを表現

— 中を囲む星形 —

知・情・意・体の調和のとれた人間性を希求する未来の指標を表現

— 外側4つの部分円 —

生徒・保護者・教職員・地域が協調して学校を支える基盤をデザイン化

7.校歌

宮の森中学校校歌
作詞 澤田 道夫
作曲 今西 淳一郎
雲流れゆく札幌の 街並遠く臨みつゝ 毅然と立てる学舎は 恵みの杜に抱かれて 曙光に盈てるわが母校 ともに讃えん宮の森
冴えわたりける大空へ 四方の若人はばたきて 花開きたるその位時の 燃ゆる生命の輝きは 伸びゆく時代のわが道標 ともに築かん宮の森
茜のいろの夕空に 直きころを染めなして またたく星のさゝやきを 永久に変わらぬ詩と聴き 希望はてなしわが前途 ともに歩まん宮の森

8. 令和6年度の主な行事予定

[4月]

- 入学式
- 新入生歓迎会
- PTA 総会 (Web 開催)
- 学級写真撮影
- 生徒会前期認証式
- 部活動見学・入部結成集会
- 授業参観・学年懇親会
- 身体測定

[5月]

- 前期教育相談
- 生徒総会
- QU 検査
- 英検 (希望者)

[6月]

- 旅行的行事
- 避難訓練
- 中体連
- 陸上競技会

[7月]

- 5組地域見学
- 1・2年期末懇談
- 1年動物園学習
- プレゼン発表会
- 終業式

[8月]

- 始業式
- 夏の教育相談
- 前期テスト

[9月]

- 生徒会演説会
- 生徒会後期認証式
- 5組校外学習
- 教科実践発表公開日
- 前期通知表配布

[10月]

- 英検 (希望者)
- 3年進路懇談会
- 文化祭

[11月]

- 開校記念日
- 進路説明会
- 5組遠足
- 後期教育相談
- 避難訓練
- 学校公開日

[12月]

- 期末懇談
- 生徒会募金活動
- 新入生保護者説明会
- 終業式

[1月]

- 始業式
- 3年後期テスト
- スキー学習
- 英検 (希望者)

[2月]

- 1・2年後期テスト
- 5組卒業を祝う会
- 学年懇親会

[3月]

- 探究学習全校交流会
- 卒業生を送る会
- 卒業式
- 学年末通知表配布
- 修了式

※年間行事予定表は4月、毎月の行事予定表は前月中旬に配布します。

宮の森中学校の教育課程

1. 年間の授業時数

●第1学年

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	学活	総合	道徳	計
週時数	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1.4	1	29
年間	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015

●第2学年

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	学活	総合	道徳	計
週時数	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	1	29
年間	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015

●第3学年

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	学活	総合	道徳	計
週時数	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	2	1	29
年間	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015

2. 日 課

日 課	時 間
登 校	8:10 ~ 8:25
朝読書・朝学活	8:30 ~ 8:45
1校時	8:50 ~ 9:40
2校時	9:50 ~ 10:40
3校時	10:50 ~ 11:40
4校時	11:50 ~ 12:40
給食	12:50 ~ 13:15
昼休み	13:15 ~ 13:30
5校時	13:35 ~ 14:25
6校時	14:35 ~ 15:25
帰り学活	15:30 ~ 15:40
清掃	15:40 ~ 15:55
下校	16:00 頃
放課後活動	16:00 ~ 16:30
部活動終了	18:30

3. 週時程

	月	火	水	木	金
1校時					
2校時					
3校時					
4校時					
5校時					
6校時		—			

●時間割は週替わりで配布

●火曜日は原則5時間授業

※祝日や職員会議、行事などによって変更になる
こともあります。

※5時間授業の日は、5時間目以降の時程が1時
間繰り上がり下校は15:00 頃、部活動終了は
17:30 です。

●職員会議の日は5時間授業で完全下校

※放課後活動はなし、部活動は16:30 再登校

宮の森中学校の学習

中学校では、これからの社会を担っていく子どもたちが、心豊かな生き方ができるように、また、良識ある社会人としての基礎をつくるために、学校生活の中で各教科やいろいろな教育活動を通して、仲間と一緒にたくさんのお話を学びます。

1. 学習の心構え

●授業の「ねらい」を大切に

1時間ごとの授業に「ねらい(その時間で理解したり身につけたりする具体的な力)」があります。その「ねらい」を意識しながら授業に参加しましょう。また、「一斉授業」で教科担任の説明を聞いたり、「協働学習」で仲間と話し合ったり、自分の考えを表現したり、「個別学習」でドリルに取り組んだり、様々な学習形態で授業が展開されます。どの場面でも興味・関心をもって前向きに取り組むことが大切です。

●わからない所をそのままにしない

授業の中で「質問は宝」です。疑問点や理解が不十分な点は、遠慮なく質問をしましょう。教科担任の先生への質問はもちろん、友だちとの「学び合い」や「教え合い」も大切にしています。

●宿題や課題はきちんと計画的に取り組む

決められた提出期限の中で、内容を充実させるためには、見通しをもち、計画的に課題に取り組むことが大切です。

●自分自身の興味・関心や好奇心を大切に

仲間との共通の趣味はもちろん、周りとは異なる自分だけがもつ興味・関心も大切にしましょう。教科書の内容を学習することだけにとどまらず、ICTを活用して調査したり、部屋から飛び出して体験活動をするなど、自分の好奇心に従って主体的に学ぶ力を大切に育みましょう。

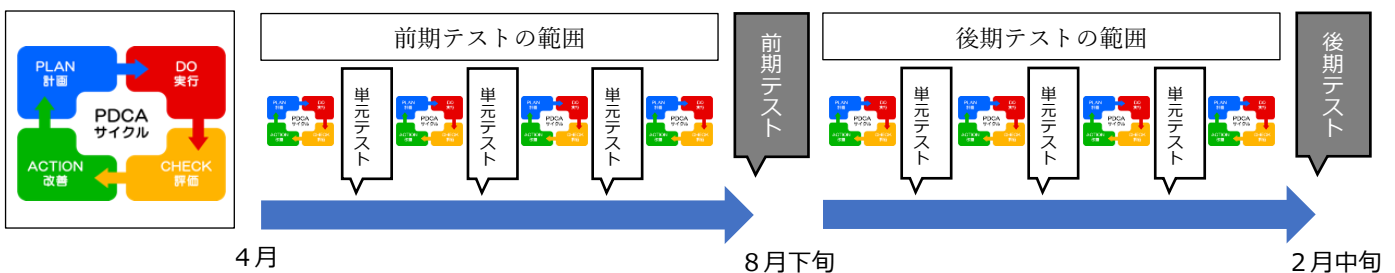
2. テストなど

●教科ごとに単元テスト、パフォーマンステスト、レポートや作品の提出等があります。

●定期テストは5教科(国・社・数・理・英)で、前期・後期の末に1回ずつ、年間で2回実施します。実施日の3週間前までにテスト範囲表が配布されます。

●3年生は、高校入試への準備として、9月、10月、11月に学力テストがあります。

●テストは、PDCA サイクルの C (Check:評価) のひとつとし、それまでの学習を振り返り、次の学習へとつなげるために活用します。



3. 学習評価について

- 学習評価は、学校における教育活動に関し、生徒の学習状況を評価するものです。「生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を捉え、教師が指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにすることがその目的です。
- 各教科における学習評価は、生徒の学習状況を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点ごとにABCの3段階で評価します。
 - ・A「十分満足できると判断されるもの」
 - ・B「おおむね満足できると判断されるもの」
 - ・C「努力を要すると判断されるもの」
- 観点別の学習状況の評価を総括するものが「評定」で、「評定」は5段階で評価します。教育課程全体を見渡した学習状況を把握することができます。
- 各教科における「評価の観点」や「年間学習計画」は、生徒向けには4月の授業内、保護者向けには学年懇親会（4月）にて資料の配布と併せて詳しく説明があります。
- 学習評価については、「結果」や「他者との比較」よりも、「自分で立てた目標に向き合う姿勢」や「試行錯誤（挑戦や失敗）の過程」、「自分自身の変化」に着目した自己評価の視点も大切にしよう支援していきます。

4. 学習用具

- 学校を通して購入していただくもの
 - ・各教科で使用する資料集・ワークブック・副読本などを4月に学校で販売します。4月1日にお手紙でお知らせします。代金は1万円程度です。 ※教科書は、入学式の日配布されます。（無料）
 - ・体育実技で使用する柔道着は、10月頃に学校で販売します。既にお持ちの物を使用しても構いません。
- 各自で用意していただくもの
 - ・各教科のノート：入学後、最初の授業で教科担任から指示があります。まだ準備する必要はありません。
 - ・給食セット：エプロン、三角巾、ランチマット
 - ・書写セット：小学校で使用していたもので構いません。国語の授業で使用します。
 - ・裁縫セット：小学校で使用していたもので構いません。家庭科の授業で使用します。
 - ・絵具セット、彫刻刀：小学校で使用していたもので構いません。美術の授業で使用します。
 - ・ソプラノリコーダー：小学校で使用していたもので構いません。音楽の授業で使用を検討しています。
 - ・スキーセット：1,2年生はスキー学習を年に2回ずつ、ばんけいスキー場で実施します。
- 学習用具は、登下校時の荷物の重さ軽減のため、学級で保管できるものもあります。

宮の森中学校の生活

宮の森中学校の生徒としての品格と誇りを保ち、心身ともに健康で安全な毎日を送るためにも、きまりを守り、心得を意識しながら、楽しく豊かな学校生活を築いていきます。

1. 生活の目標

- 自他の生命を大切にし、思いやりや感謝の心をもって明るく生活しよう。
- 仲間を大切にし、尊敬し合い支え合って楽しく生活しよう。
- 自主的に考え、判断し、責任をもって行動しよう。
- 一生懸命学習し、挨拶や言葉遣いなどの礼儀やマナーを守って生活しよう。
- 宮の森中学校の生徒としての自覚と誇りをもって生活しよう。

2. 生活のきまり

[日課に関すること]

- 学校で定めた日課を守り、時間のけじめをもって生活する。
- 登校時間 8:10~8:30 ※8:25 までには教室に入り学習用具の準備、記録表の記入
- 放課後活動 16:30 まで
- 部活動下校 18:30 まで(5時間授業の日は 17:30 まで)

[標準服に関すること]

- 本校で定める標準服を着用する。冬服は4月・11月~3月、夏服は7月・8月で、5・6月と9・10月は移行期間とし、天候にあわせてどちらかを選択して着用する。
- 冬服:ブレザーとスラックスまたはスカートを着用。ブレザーの下にYシャツ・ブラウスのいずれかを着用し、ベストの着用は自由。通常はネクタイの着用は自由、儀式的行事など指定された場合は必ず着用。
- 夏服:Yシャツ・ブラウス・ポロシャツのいずれかとスラックスまたはスカートを着用し、ベストの着用は自由。
※ポロシャツ、ベストは学校指定のものを着用
- ジャージは本校で定めたものを着用する。
- 名札は左胸ポケットにクリップで留める。(学校保管)

[登下校に関すること]

- 登下校は徒歩とし、通学経路を守って登下校する。
- 区域外通学などでバスを利用する生徒は、あらかじめ許可を得る。

[その他]

- 職員会議や研修会、定期テストの3日前(土日を除く)は完全下校とし、諸活動は行わない。
- 欠席や遅刻、早退の連絡は、保護者がする。※当日の朝 8:00 までに学校連絡システム「すぐーる」入力
※8:30 以降は、直接学校へ電話で連絡をお願いしています。
- 放課後活動を行う場合は、活動場所へ自分の道具を持っていく。
- 校外生活については、別に定めるきまりを守る。

3. 生活の心得

[服装に関すること]

- 清潔で中学生らしい身だしなみを心がけるようにする。
- コート類は高価華美でなく中学生らしいものとする。また、授業中防寒のために着用する場合は許可を得るようにする。
- 上靴は指定のものとし、定められた位置に記名する。 ※上靴記名位置→
- 標準服の下に着るものやソックス類は、高価華美でなく中学生らしいものとする。



[頭髪に関すること]

- 清潔で中学生らしい身だしなみを心がけ、極端に流行を追うような髪型にはしない。
- パーマ、脱色、染色はしない。
- ヘアピン、ヘアゴム、リボン等は華美なものではなく、学習の妨げにならないために使用する。

[持ち物に関すること]

- 身分証明書は常に持ち歩く。
- カバンは高価華美ではなく、学校生活に必要なものを入れるのに適したものを使用する。
- 不用物や現金は持ってこない。

携帯電話・スマートフォンの持ち込みについて

- ・携帯電話・スマートフォンの持ち込みは原則禁止です。
- ・生徒が学校から保護者へ連絡をとる必要がある場合は、職員室の電話を利用できます。
- ・登下校時の危機管理等、特別な事情で持参させる場合は、4月に保護者向けに配布される「許可願」をあらかじめ学校に提出してください。
- ・許可を得て持参した携帯電話・スマートフォンは電源を切り、記名した袋に入れて朝学活で担任に提出し、帰り学活まで職員室で預かります。
- ・校内ではもちろん、登下校中においても緊急時以外は使用できません。

[校内での生活に関すること]

- 校内生活では常に安全を意識し、落ち着いて行動する。
- 時間にけじめをつけて、余裕をもって行動する。
- その場に応じた礼儀やマナーを意識して行動する。
- 学校の備品は大切に利用する。

宮の森中学校の生徒会活動

小学校では「児童会」という名称で活動を行ってきたと思いますが、中学校では「生徒会」という名称になり、より自治的な活動が多くなります。宮の森中学校の生徒会役員・委員会は下記のようになっており、さまざまな活動に取り組んでいます。

[生徒会活動]

● [役員会] 生徒会活動の中核となる機関・生徒会役員選挙によって選出

- ・生徒会長 1名
- ・副会長 2名
- ・書記 2名
- ・会計 2名

● [議長会]

- ・学級議長 : 議長会・学年協議会の運営、生徒会誌の編集と発行

● [学年協議会]

- ・学級代表 : 学年協議会の運営、生徒会誌の編集と発行

● [専門委員会]

- ・生活委員会: 学校生活における安全・安心の維持・促進
- ・文化委員会: 学習環境の整備、図書館の管理・運営
- ・保体委員会: 校内の美化や保健衛生、体育や給食など健康の維持・促進
- ・放送委員会: 校内放送と儀式や集会における放送機器の準備、映像記録

宮の森中学校の部活動

部活動は、生徒の自主的、自発的な参加により行われます。部活動に参加する生徒にとっては、スポーツや芸術文化等の幅広い活動機会を得られるとともに、体力や技術の向上につながるだけでなく、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあります。宮の森中学校には、部活動にも意欲的に取り組む生徒が多く、学年の枠を超えた交流が盛んに行われています。

[部活動]

●設置部活動(令和5年度)

[体育系] 野球 サッカー ソフトテニス
 男子バスケットボール 女子バスケットボール 女子バレーボール
[文化系] 吹奏楽 美術 科学

●加入と活動

- ・4月に部活動見学があり、その後入部手続きを行います。部活動への入部は任意です。
- ・活動日や時間は部ごとに異なります。月ごとに「部活動月予定表」が出ます。
- ・平日において、活動は2時間程度で、少なくとも週に1日は平日に休養日となります。
- ・週末において、活動は3時間程度で、土日のいずれかは休養日となります。
※大会等の場合は、この限りではありません。
- ・活動への欠席・遅刻・早退は、必ず担当(指導)教師に申し出てください。

中学生の健康

中学生はからだも心も著しく成長する時期であり、大人へと成長するための準備を始める時期でもあります。この大切な3年間、学校としてもご家庭と連絡を密にして、お子さんの心身の健やかな成長を見守っていきたくと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

[規則正しい生活習慣(睡眠と食事)を大切に!]

中学生になると、宿題や予習・復習、部活動、塾や習い事…と生活が多忙化し、就寝時間や起床時間が遅くなる夜型生活のお子さんが増加します。「小学校と違い、教科も増えて勉強が大変だろう。」とご家庭で黙認される場合もあるかもしれません。

しかし、結果的には生活リズムの乱れにつながり、“起きられない、朝は食欲がなくご飯を食べられない、排便のリズムが乱れる”など、体調を崩す原因となってしまうがちです。特に、テスト前後や長期休業明けは、夜型の生活から体調を崩すお子さんが急増し、保健室も賑わいます。

また、1日3回の食事をきちんと食べることも大切です。特に、朝食は午前中の活動のための重要なエネルギー源となります。4時間目までの授業に集中できるように、バランスよくしっかりと朝食を食べる習慣を大切にしてください。小学校時代同様、規則正しい生活習慣を継続できるように、ご家庭でも声をかけてくださいますよう、お願いいたします。

[子ども達は緊張の毎日です!]

入学後、お子さんにとってはすべてが新しいことばかりで、緊張の継続が強いられます。50分授業、教科ごとに先生が変わるなど、小学校の生活との違いがたくさんあります。環境に慣れるまでは疲労感を訴えることが多いと思われます。最初の1ヶ月程度は、中学校の生活リズムにからだを慣らすことが何よりも大切です。夜は早めに寝て、十分に睡眠を取り、翌日に疲れを残さないように心掛けてください。

[健康診断が目白押しです!]

視力・聴力検査、二計測(身長・体重)、学校医による各検診、尿検査や心臓検診など、1年生は健康診断の項目が多く、それに伴う各種調査や問診票等、配布物も多くなります。保護者の皆さまに記入をお願いする用紙も少なくありませんが、ご協力をお願いいたします。

また、健康診断の結果については、さらに詳しい検査を必要とする場合や治療の必要が認められる場合についてのみ、「健康診断結果のお知らせ用紙」にお知らせいたします。できるだけ早く受診あるいは治療されることをお勧めします。

[心の健康について]

『思春期』と言われる中学生の時期。男女ともに第二次性徴期にさしかかり、体の変化と同時に心にも変化が訪れます。「放っておいてほしい」という気持ち【自立】と「誰かに助けてほしい」という気持ち【依存】の間で絶えず揺れ動いています。また、自分への関心が高まり、自分の容姿などに対する他人の目や評価「周りからどう思われているのか」を気にするようになります。こうした変化に、悩んだり落ち込んだり、自分を責めたり…と不安になりやすくなります。さらに、人間関係の面でも、友達との関係において、何でも話し合える親友やわかってくれる友達を強く欲し、その存在を何よりも大切に思うようになります。一方で、親や周囲の大人との関係においては、反抗することが多くなります。親から与えられてきた考え方ややり方に疑問をもったり、反発を感じたり、自分の思い通りにならない不安や、わかってもらえない寂しさもあり、訳もなくイライラしたり、ケンカになってしまうことが多くなるかもしれません。

親としては「傍で見守る」「適度な距離を保ちながら待つ」という関わり方が大切です。子ども達は、親にあれこれ言われるとうるさく感じるものですが、全く放っておかれると見捨てられたようで寂しく感じるものです。何でも物分かりよく、子どもの自由に任せるのではなく、「ここぞ」という時は親の姿勢を示す必要があります。ぶつかる壁があつてこそ、自分というものがわかってくるのではないでしょう。

「子どもの様子の変だな」「何か悩みでもあるのかな…」とお感じになられた時、無理に聞き出そうとするのではなく、ご自身の中学時代を思い出して、子どもに語りかけてみるのも一つの方法です。友達とうまくいかなかったことや、意地悪をされたり、したり…といった経験。からだや心の変化にうれしい反面、不安や焦りを感じたこと、中途半端でどこかモヤモヤとした気持ち…私たち大人も通ってきた道です。「自分の気持ちを（親に）正直に話しても良いのだ…」と伝えるだけで、子ども達は安心できるものです。

[保健室の利用について]

保健室は、応急処置の範囲内でできる手当を行います。人間がもつ自然治癒力を助ける手当が中心となりますので、内服薬の使用はできるだけ控えるようにしています。薬が必要な場合は、お子さんに持参させていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

また、保健室は教育の場でもありますので、お子さんが自分のからだや生活について考えたり、自分で健康を管理していくことができるように支援していきたいと考えています。

- 体調不良等により早退が必要な場合は、保護者の方に連絡をさせていただくことを原則とします。入学受付で配布される『健康カード』や『保健室個人カード（健康調査票）』に確実に連絡がとれる連絡先を複数ご記入ください。
- 食物アレルギーで給食対応が必要な場合は、必要に応じて保護者の方と面談させていただきます。
- 学校生活で配慮が必要な場合や、からだや心の面で相談したいことがある場合などは、保健室（養護教諭：杉田）までご連絡ください。

宮の森中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において
「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る



全市共通で推進する「二つの柱」

①課題探究的な学習

②発達の段階に応じた継続的な子ども理解

札幌市の「小中一貫した教育」推進の四つの視点

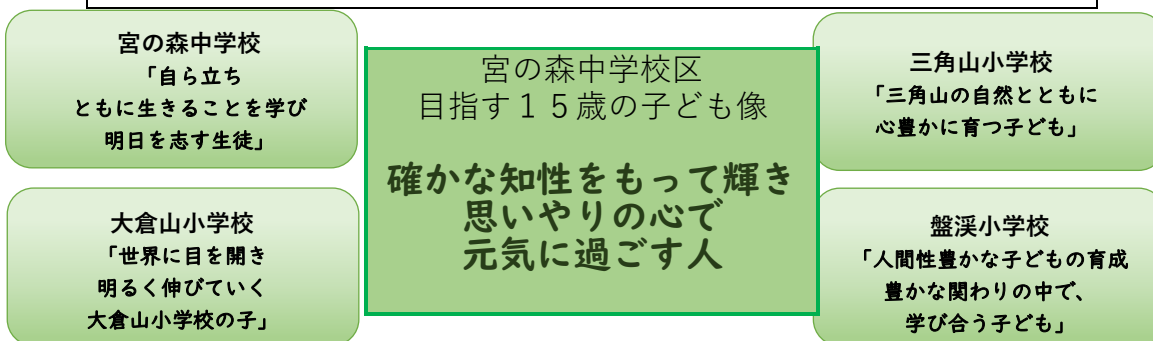
①9年間を通した子ども
の学びのつながり

②子ども理解・生徒指
導の連続性

③教職員の連携・協議

④家庭や地域との関わり

宮の森中学校区の各校の教育目標と目指す15歳の子ども像



地域の実態・願い	子どもの実態
<p>円山・宮の森風致地区にあり、閑静な住宅地である。</p> <p>陸上競技場・円山球場・大倉山ジャンプ台・ばんけいスキー場等の体育的諸施設、円山動物園・彫刻美術館等の文化的諸施設に恵まれている自然豊かな環境の中、教育に寄せる関心が高い。</p> <p>協力的な町内会の支援の下、地域ボランティア活動も盛んである。PTA活動も、工夫を凝らして活動している。</p>	<p>明朗で素直な子どもが多く、礼儀や基本的生活習慣が身に付いている。</p> <p>学力テスト・全国学力状況調査の結果から、「知識・技能」の評価はどの学年も高い傾向がある。</p> <p>協調性を持ち、宮の森の歴史や自然に興味をもっている子どもが多い。様々な活動の習い事や塾に通っている率が高い。</p> <p>与えられた課題について熱心に取り組む姿勢があるが、創造的に取り組む力や主体的に取り組む力をより一層育てていくことが課題である。</p>

二つの柱と四つの視点を踏まえた教育目標

知	徳	体
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題を見付け、粘り強く学び続ける子どもの育成 ・問題解決にむけて、思考力・判断力を発揮し、考えることの楽しさ、喜びを実感できる子どもの育成 ・協働的な学びを通して、自ら問い続ける子どもの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを許さない子どもの育成 ・ありのままの自分を受け止め、思いやりをもって他者と関わる子どもの育成 ・命を大切にすることの育成 ・自己肯定感をもち、自他を尊重する子どもの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己課題をもち、進んで運動に親しむ力 ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につける力 ・性に関する正しい知識と命を尊重し大切に行動する力

具体的な取組・発達段階に応じた実践のねらい

	具体的実践	a 小1～小4	b 小5～中1	c 中2～中3
知	協働的な学び合い	自他のよさを取り入れられるような学びを目指す	自他のよさを生かしながら協力できるような学習活動の展開を図る	自他のよさを認め、特徴を生かせるような学び合う活動の展開を図る
	主体的に問題を発見し、解決を目指す授業実践	対象に進んで関わる中で見付けた問題に向き合う授業の実践を目指す	自らの意思で目標をもって問題に向き合う授業の実践を目指す	自らの意思で見通しをもって真摯に(自分の在り方に照らしながら)問題に向き合う授業の実践を目指す
	クロームブックを活用した授業の研修と推進	端末の基本的な操作・活用の技能の習得を目指す	協働的な学習ツールやコミュニケーションツールとしての活用を目指す	「深い学び」を通して、一人ひとりが主体的に社会で活躍できる力を養う
	個に応じた指導の充実	学びのサポーターによる学習支援と発展的な学習への環境整備と学習形態の充実を図る		「補充的な学習」「発展的な学習」に対応できる教室環境と学習形態の充実を図る
	授業公開と校内研修、小中一貫した教育研修	自分たちの成長を実感できる幼稚園連携を目指す	中学校生活への憧れや期待感を抱くための、中1ギャップの解消の取組(オンライン授業・学校訪問等)の活性化を目指す	
徳	教育相談の充実	児童へ寄り添うための日常的な観察と継続的な教育相談によるよりよい関わり方を目指す		学校生活への不安の解消・緩和を図る
	家庭との連携強化	保護者に寄り添うための懇談会・電話連絡等によるよりよい関係づくりを目指す		家庭と学校の連絡体制の強化
	道徳教育の充実	かけがえのない自分の生命に気付く授業の充実を図る	多くの人々の支えがあつての自分に気付く授業の実践を目指す	自他の命を尊重する心を育む授業の充実を図る
	あいさつの充実	あいさつの気持ちよさと自分と他者とのつながりを感じることを目指す	自他の心が分かり合えることの大切さに気付くような実践を目指す	自分の気持ちを表現することの大切さに気付くような活動の充実を目指す
	児童会・生徒会活動を通し、学校全体を考える取組	望ましい人間関係の形成を目指す	集団や社会の一員として、よりよい学校生活に参画する態度を育てる	協力して諸問題を解決しようとする主体的、実践的な態度を育てる
	児童会、生徒会の連携		中学校生活への憧れや期待感を抱くような小中連携の取組で中1ギャップの解消を図る	
体	健康づくりに取り組む態度の育成	自他の命を大切にす姿勢を養うような学習活動の充実を図る	「命」「性」に関して、正しく理解できるような学習活動の充実を図る	情報を収集し正しく理解し判断する力を育む学習活動の充実を図る
	健康教育の充実	指導の継続により、衛生管理、望ましい食習を身に付けることを目指す		健康の保持増進と体力の向上を図る
	主体的な体力づくりの取組	日常的な活動や学習などで基礎体力の向上を目指す	日常的な活動や学習などで多様な動きを身に付ける活動の充実を目指す	運動を通して学びを深め、実生活に結び付けるような取組の充実を図る
	栄養教諭や養護教諭の専門性を生かした食指導、保健指導の充実	楽しい食事のための指導により、食生活のマナーを身に付ける	食事の役割とはたらきを知り、バランスのよい食生活への理解を目指す	基本的な生活習慣(睡眠・食事・運動等)を確立し、自分で健康を管理する能力を身に付ける
	性に関する指導の充実	命の存在について知るための指導や学習の充実を図る	成長の喜びを知るため指導や学習の充実を図る	性に関する正しい知識と自他の命を尊重する態度を身に付けるための指導や学習の充実を図る

入学式までの準備日程 4ステップ!



STEP 1 標準服・ジャージ・上靴の購入



標準服の採寸:2月12日(月)までに宮の森中学校標準服取扱店にて

「標準服 早期採寸予約のご案内」を11月に小学校を通して配布しました。まだ採寸をされていない方は、下記の店舗に直接お電話でお問い合わせの上、期日までに採寸をしてください。

- 学生服のタナカ イトーヨーカドーアリオ札幌店2階(Tel:702-6681)
西友西町店2階(Tel:215-8265)



- 学生服の赤塚 狸小路店 赤塚ビル2階(Tel:251-2251)



- 大万 イオン札幌桑園店2階(Tel:590-4915)



上靴の購入

- 上記標準服取扱店にて上靴も購入可能
- 理容のさとう 宮の森2条14丁目1-21(Tel:621-6240)

ジャージの注文

- クリエイトスポーツ オバラ 中央区北16条西21丁目1-6(Tel:211-4400)
※2/11(土)~2/25(日)11:00~17:00 受付
- 学生服のタナカ イトーヨーカドーアリオ札幌店2階(Tel:702-6681)
西友西町店2階(Tel:215-8265)



STEP 2 学校徴収金の納入手続き



『自動払込利用申込書』提出:3月1日(金)までにゆうちょ銀行へ

保健費、学校諸費・生徒会費・PTA 会費・体育文化振興会費等の学校徴収金については、ご指定されたゆうちょ銀行口座から自動引き落としによる納入方法となっています。



STEP 3 入学受付



4月1日(月) 13時より 宮の森中学校体育館にて

宮の森中学校へ入学する生徒(在籍数)を確認し、入学に向けた準備について生徒向けに説明します。この日に「入学式のご案内」の他、「家庭と環境調べ」「健康カード」などを配布します。ご家庭で必要事項を記入後、入学式の日提出します。登校はお子さんのみで、保護者引率の必要はありません。

- 登校時間：12:40 ～ 12:55
- 下校時間：13:30 頃を予定
- 服 装：私服(中学校の標準服着用の必要はありません)
- 持 ち 物： 配布書類(A4 サイズ)が入るカバン
 - 『入学通知書』(札幌市教育委員会発行のハガキ)
※余白に保護者電話番号を記入して持参させてください。
 - 筆記用具
 - 上靴(小学校で利用していたもので可)

入学受付に登校できない場合

特別な事情により、4月1日(月)の入学受付に登校できない場合は、必ず事前に中学校へご連絡ください。

宮の森中学校 Tel: 612-1147 (教頭: 村上)



STEP 4 入学式



4月9日(火) 10:30 より 宮の森中学校体育館にて

- 登校・受付：9:40 ～ 10:00 ※受付後、保護者は控室待機
 - 新入生学活：10:00 ～ 10:20 ※名札配布、入学式の動き確認
 - 保護者入場：10:20
 - 入 学 式：10:30 ～ 11:20
 - 新入生学活：11:20 ～ 12:00 ※教科書配布
 - 新入生下校：12:00
- ※入学式の詳細については、4/1(月)の入学受付の日にお手紙でお知らせします。

保護者の皆様へ

子供をネット犯罪から守るために
(スマートフォン・SNSの安全な利用)



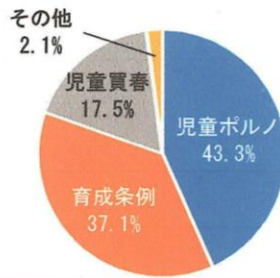
北海道警察

毎年、多くの子供たちがSNSの利用に起因して福祉犯の被害に遭っています

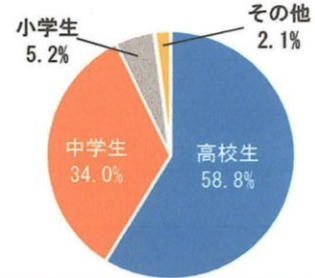
【SNSの利用に起因する福祉犯被害少年の人数】



【罪種別割合 (令和4年)】



【学職別割合 (令和4年)】



「福祉犯」とは、児童買春や児童ポルノなど、少年の福祉を害する犯罪をいいます。

ケース1 同性同士だと思って写真をやりとりしたら...

下着姿の写真を送ったら、実は同性ではなく、送った写真をばらまくと脅迫されてしまった。



ケース2 「家出したい」と書き込んだら 親切人が現れて...

SNSで声をかけてくれて、その人の家に行ったら、監禁されて性被害に遭ってしまった。



スマートフォン・SNSを安全に利用するために

◇「フィルタリングの設定」を!

多くの被害を受けた子供が被害時にフィルタリングを利用していません。利用時間の設定やアプリごとに許可または制限もできます。

◇「家庭のルールづくり」を!

「利用時間を守る」「寝室に持ち込まない」など家族で話し合って決めましょう。「困ったときに家族に相談する」という内容を入れることも大切です。

動画で確認!

「フィルタリングの設定」と「家庭のルールづくり」などについて説明した動画を北海道警察のYouTube公式チャンネルで公開しています。

子供をネット犯罪から守るために
(スマートフォン、SNSの安全な利用)



北海道警察本部少年課



MEMO



入学準備等に関してご不明点は、お気軽に中学校までお問い合わせください。

宮の森中学校 Tel:612-1147(教頭:村上)